

令和4年度 学校評価アンケート

令和5年3月14日
豊島区立池袋第三小学校
校長 仁科 光一

学校評価アンケートは教育活動の充実に向け、改善の視点を見いだすための一つの方法として、7月と1月に実施させていただきました。その他ご回答いただきましたご意見・ご要望につきましても今後のより良い教育活動に生かしてまいります。ご協力誠にありがとうございます。
※回答者数（1回目：205人 2回目：199人）

7月 1月

設問1： 学校は、就学前の保育園・幼稚園や小学校卒業後の進路に向けて円滑な接続・連携を図っている。		選択肢	1回目 %	2回目 %
1回目		A： あてはまる	23.4	27.6
2回目		B： だいたいあてはまる	43	38.3
		C： あまりあてはまらない	2.4	6
		D： あてはまらない	3.4	1.5
		E： わからない	27.8	26.6

就学前や卒業後の円滑な接続	一回目に比べて二回目は肯定的な意見が増加しています。今年度は、新型コロナの感染も落ち着きを見せ、例年通り保育園交流や幼保見学などの実施が可能となりました。今後も一年生の入門期に「スタートカリキュラム」を実施して、保育園・幼稚園からの円滑な接続につなげていきます。一方、就学前の園児や卒業後の中学生との交流などは保護者には見えにくいところであり、「わからない」の回答が一、二回目とも多くなっています。今後も、学校だよりやHPなどで情報発信をしていきます。
---------------	--

設問2： 学校は、児童の学力定着に向けて、わかりやすい授業を行っている。		選択肢	1回目 %	2回目 %
1回目		A： あてはまる	26.8	35.7
2回目		B： だいたいあてはまる	61	49.1
		C： あまりあてはまらない	4.9	6.6
		D： あてはまらない	0.5	1.5
		E： わからない	6.8	7.1

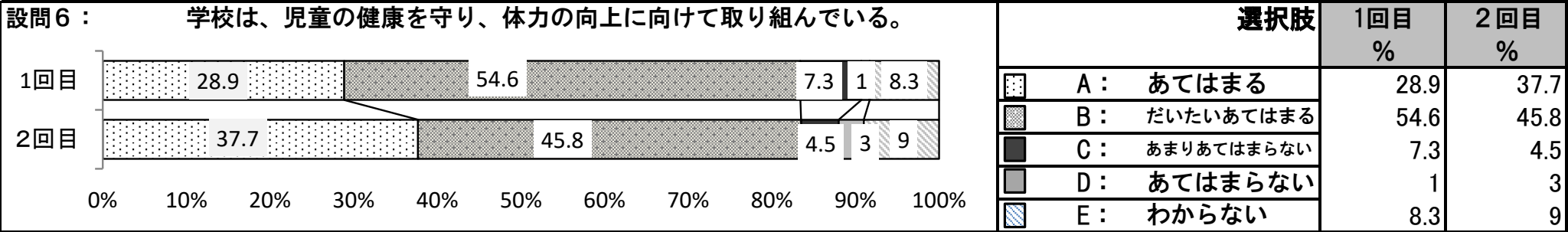
設問3： 学校は、タブレットパソコンやプロジェクターなどを活用し、学力や学びの意欲の向上に取り組んでいる。		選択肢	1回目 %	2回目 %
1回目		A： あてはまる	46.8	45.2
2回目		B： だいたいあてはまる	39.5	38.3
		C： あまりあてはまらない	5.9	6.5
		D： あてはまらない	1.5	2.5
		E： わからない	6.3	7.5

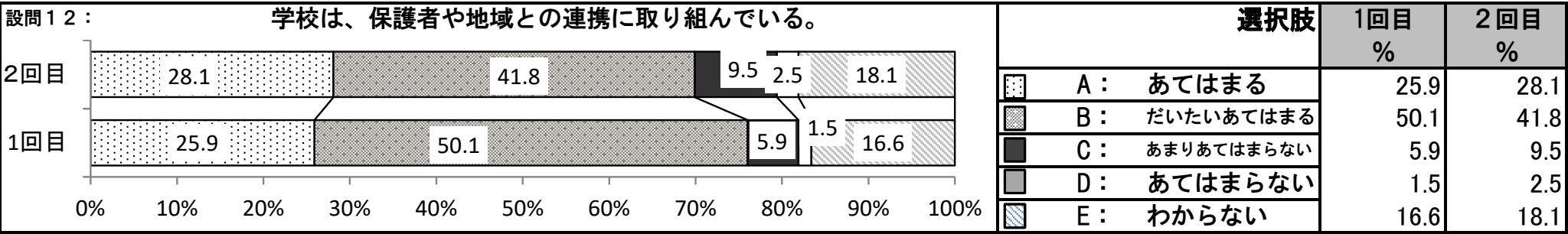
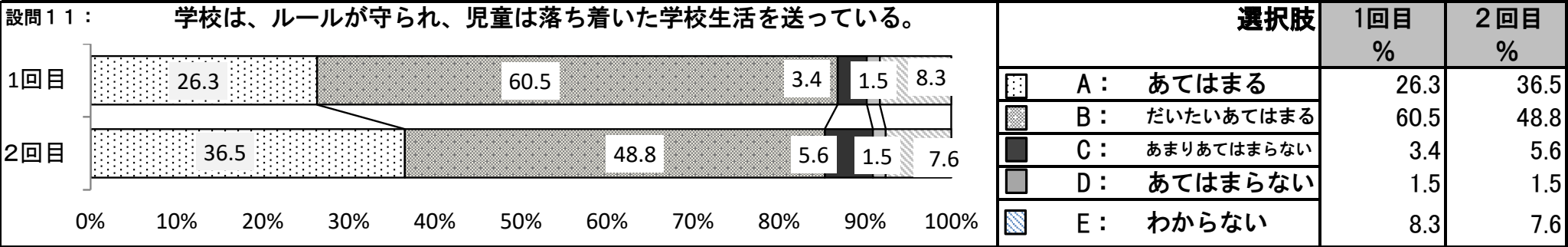
確かな学力の育成	設問2の「わかりやすい授業について」では、「あてはまる」35.7%「だいたいあてはまる」が49.1%で合わせて、84.8%という高い数値でした。今後も学力向上を目指し、教職員の校内研究や日常的な研修で授業改善に取り組んでいきます。 設問3の「ICT機器の活用による学力の意欲の向上について」では、「あてはまる」が45.2%、「だいたいあてはまる」が38.3%で合わせて83.5%という高い結果となりましたが、二回目では否定的な回答も若干増えています。今後もコミュニケーションツールとしての活用やプログラミング教育など、日々の教育活動で児童のICT活用能力の向上に取り組んでいきます。
----------	--

設問4： 学校は、道徳を含む全教育活動を通して、人を思いやる気持ちを大切に温かい学校づくりを行っている。		選択肢	1回目 %	2回目 %
1回目		A： あてはまる	33.2	40.7
2回目		B： だいたいあてはまる	50.2	45.2
		C： あまりあてはまらない	4.9	1.5
		D： あてはまらない	1	2
		E： わからない	10.7	10.6

設問5： 学校は、生命を尊重し、他の人を大切にする教育活動が行われている。		選択肢	1回目 %	2回目 %
1回目		A： あてはまる	36.1	42.2
2回目		B： だいたいあてはまる	42.4	42.7
		C： あまりあてはまらない	4.9	2
		D： あてはまらない	0	2
		E： わからない	16.6	11.1

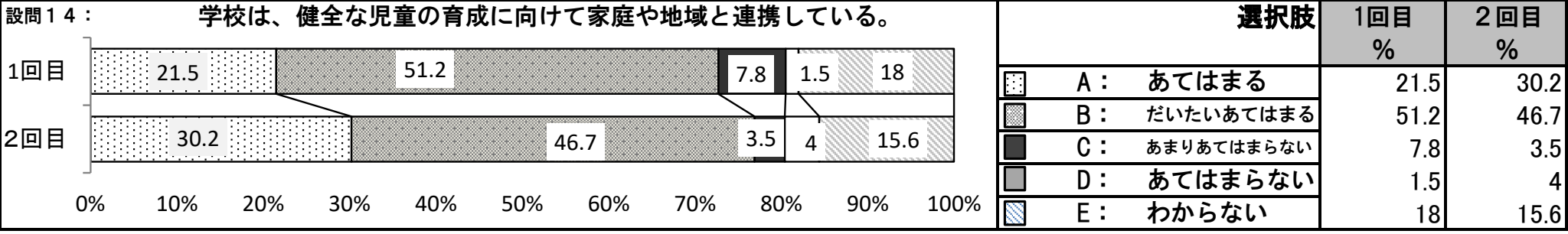
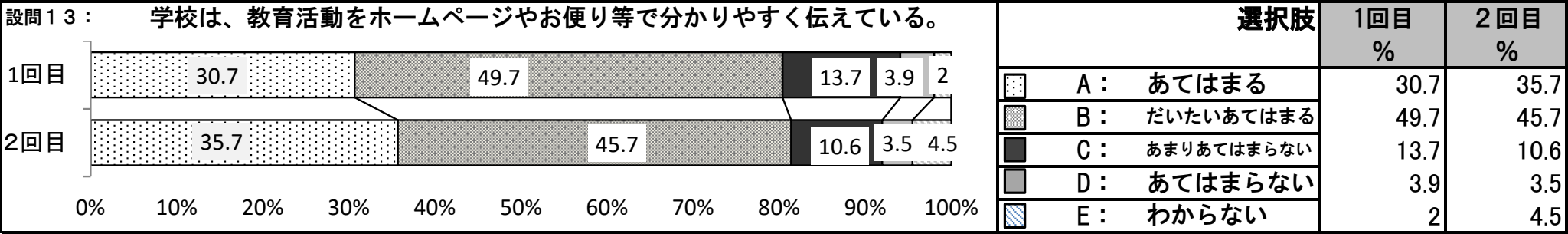
豊かな心の育成	設問4の「道徳教育、全教育活動を通して温かい学校づくりを行っている」では、「あてはまる」が40.7%、「だいたいあてはまる」が45.2%で合わせて85.9%でした。今年度は、道徳地区公開講座の授業参観者が増加したことで、学校の取り組みを理解していただいた結果と考えています。今後も児童の心を育てていくため、ご家庭との連携を深めていきます。 設問5の「生命尊重の教育活動」については「あてはまる」が42.2%、「だいたいあてはまる」が42.7%で合わせて84.9%と高い数値でした。「わからない」の回答も減少しています。今後も動植物や他者の生命を大切にするこことのできる児童を育てるための体験や話し合い活動を充実させていきます。
---------	--





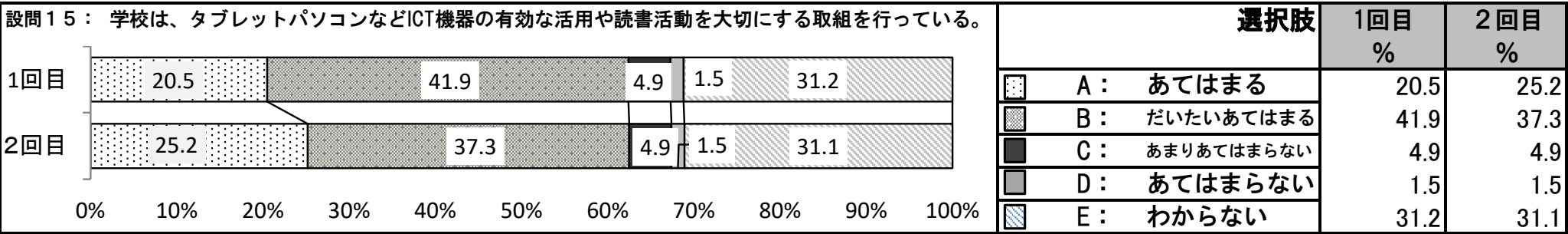
教師力の向上と魅力ある学校づくり

設問11の「落ち着いた学校生活」では「あてはまる」が36.5%、「だいたいあてはまる」が48.8%で合わせて85.3%でした。概ね肯定的な回答をいただきましたが、一回目よりも二回目は減少しました。コロナ禍での新しい学校生活のルールやタブレットの使い方など追加や変更が多かったことにより、児童に定着しきれていない場面もあったようです。状況に応じながら確実に家庭と学校との連携を図り、落ち着いた学校生活が送れるように取り組んでいきます。設問12の「保護者と地域との連携」では「あてはまる」が28.1%、「だいたいあてはまる」が41.8%で合わせて69.9%でした。コロナ禍により、数年前まで継続的に実施してきた活動が途絶えたり、縮小したりしていることが原因と考えられます。今後は可能な範囲での活動再開や新たな連携の在り方を検討していきます。



家庭・地域との連携

設問13の「教育活動をホームページやお便りで発信」では「あてはまる」が35.7%、「だいたいあてはまる」が45.7%で合わせて81.4%でした。今後も各学年の活動をお便りやHPで積極的に発信していきます。さらにタブレットを活用して学級の様子をお知らせするなどの工夫をしていきます。設問14の「健全な児童育成の家庭・地域との連携」では「あてはまる」が30.2%、「だいたいあてはまる」が46.7%で合わせて76.9%と概ね肯定的な回答でした。児童の健全な成長を図る上でも家庭や地域との連携は欠かせないものです。児童一人一人を大切に、保護者の皆様とつながり、共に育てていく学校を常に目指します。



特色ある教育活動

設問15の「タブレットの活用、読書活動」では「あてはまる」が25.2%、「だいたいあてはまる」が37.3%であり、肯定的な回答は62.5%でした。今年度は学校図書館の移転があり、利用の仕方が大きく変わりましたが、図書委員会の読書月間の取り組みやビブリオバトルなどは実施することができました。今後も学校図書館の有効な利用方法を検討し、発信していきます。ICTの活用については設問3の回答も参考にしながら、日常での効果的な使い方や授業での取り組みを工夫していきます。